

2005 秋田 1(10) 難易度

1

- (10) 1けたの自然数  $a$ 、 $b$ 、 $c$  を1つずつ書いたカードが3枚ある。この3枚のカードを  $\boxed{a}$   $\boxed{b}$   $\boxed{c}$  と並べた場合は、百の位が  $a$ 、十の位が  $b$ 、一の位が  $c$  の3けたの整数を表すものとする。  
いま、 $\boxed{a}$   $\boxed{b}$   $\boxed{c}$ 、 $\boxed{b}$   $\boxed{c}$   $\boxed{a}$ 、 $\boxed{c}$   $\boxed{a}$   $\boxed{b}$  の3けたの整数を3個つくる。この3個の整数の和が1221になるとき、 $a+b+c$ の値を求めなさい。

**【解答】**

1

(10) 11

**【解説】**

方程式に分類すべきか、因数分解に分類すべきか、悩みます。

この問題の面白いところは、 $a, b, c$  それぞれの値は分からなくても、 $a+b+c$  の値なら求めることができることです。やり方がわからないと言って問題を見つめているだけでは何も分かりません。とりあえず、分かることを鉛筆で書き出してみる。それが自分へのヒントになります。